研究課題名	成人固形腫瘍の発生・進展に関わる遺伝子探索
研究期間	実施許可日　～　2027 年 3 月 31 日
研究の対象	本研究の説明を受け同意をされた方及び，1987 年から 2004 年 12 月に医歯薬学総合研究科展開医科学専攻外科学　（旧外科学第一），医歯薬学総合研究科展開医科学専攻病態情報医科学　（旧病理学第二）において、試料が保存されていた腫瘍症例の腫瘍組織および正常組織，血液も本研究対象とします（「大腸腫瘍における遺伝子不安定性のスクリーニング法の研究」，「炎症性腸疾患を対象とした遺伝子多型解析による疾病感受性に関する研究」の研究で提供された方のうち、将来研究への使用に同意をいただいた方の試料も含みます）。
研究の目的・方法	研究目的：　成人に発症した固形腫瘍（白血病などの血液腫瘍をのぞいたもの）で、どのような遺伝子の働きが活発で、どのような遺伝子の働きが落ちているかを調べ、どの遺伝子が腫瘍にとって重要であるかを見つけます。さらに、もともと持って生まれたどの遺伝的体質が腫瘍の性質や治療への反応性と関係するかも調べます。腫瘍が発生し進行してゆくことにとって重要な遺伝子や治療への反応性を決める遺伝子が決まれば、将来の新しい診断法・治療法の開発や、ひとりひとりに最適の治療法を組み立てるオーダーメイド治療につながると期待しています。また、発症前に前もって遺伝的体質を知ることができれば、発症を予防したり、早く診断して早く治療を開始することもできると期待されます。 研究の方法：本研究は，ヒトゲノム・遺伝子解析研究です。遺伝子を形作る DNA やそれを元に作られる RNA，蛋白質を取り出します。それらを調べることにより、ほとんど全ての遺伝子の中から、固形腫瘍の発生・進展にかかわる可能性のある遺伝子と、化学療法などの治療効果に影響を与える可能性のある遺伝子を探してゆきます。その遺伝子の型や、働き具合と診療記録から得られる情報との関連性を調べます。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：診療情報（年齢、性別、病歴、血液検査結果、等） 試料：血液、手術の際などに採取・切除された腫瘍組織の一部
外部への試料・情報の提供	広島大学単独研究のため外部への提供は行いません。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2005 年 1 月 7 日）
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。

研究組織	本学の研究責任者 　自然科学研究支援開発センター研究開発部門生命医科学部 特任教授　　檜山　英三
その他	※本研究について、既に同意いただいた研究対象者の皆様へ 同意いただいた後、計画が一部変更されました。研究内容の大きな変更ではございませんが、変更した内容について情報を公開します。 【変更内容】研究期間の延長 今後も研究に変更が生じた場合現在ご覧いただいている HP にて変更した情報を公開しますのでご確認ください。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 〒734-8551　広島市南区霞 1-2-3 自然科学研究支援開発センター研究開発部門生命医科学部　　特任教授 檜山　英三 Ｔｅｌ：082-257-5951　　ＦＡＸ：082-256-7109